

愛知県議会議員

桜井ひでき

現場の声を
県政に!

県政レポート

2026年新年号
発行:桜井ひでき事務所

vol. 28



明けましておめでとうございます
本年が皆様とご家族にとりまして
健やかな一年になりますようお祈り申し上げます



message

スポーツがもたらす魅力を 発信します!



本年も皆様とともに穏やかに新たな年を迎えることができました。本年は、2015年から進めていました「アジア競技大会・パラ競技大会」が開催されます。近年の資材費・人件費の高騰により、当初予定していた開催経費が膨れ上がりましたが、新たに国からの財政支援や大会運営の見直しなどにより開催への目途が出来つつあります。多くの県民の皆さんにスポーツがもたらす力を広げていきたいと考えます。
本年も全力で議員活動に邁進してまいりますのでご協力・ご理解をお願いします。

◀下山地区の体育大会にて中学生による恐竜パレード

委員会質疑 1

TOPICS
1

経済労働委員会にてトヨタ自動車の 車両工場への対応を質問!

トヨタ自動車が、豊田市内で50年ぶりとなる車両工場建設を表明され、豊田市とともに用地造成を愛知県企業庁に要請され、現時点での取組について伺いました。



Q 国の事業として豊田南バイパス・北バイパスを整備しているが、渋滞対策について企業庁の方針を伺う。

答弁 今回の開発は、企業庁の開発事業としても大規模なものとなるため、道路など周辺地域に対して大きな影響を与えないように対応や配慮が特に重要であると認識。とりわけ、道路においては、新設される工場によって新たに発生する交通量が現状の交通量に付加され、企業庁は、トヨタ自動車と話し合いながら、工場への進入方法の検討など、渋滞の緩和策に努める。併せて、新設されるバイパスを含め周辺道路の整備につきましては、国、県及び市の道路管理者に様々な機会を捉えて要望していく。

Q 亜炭廃坑の充てん工事などの対応が求められるが、企業庁はどのような対応を行うのか。

答弁 豊田市貞宝町周辺に亜炭層の採掘権が存在することは、これまでの文献から承知している。まずは、開発区域内全域を網羅するように一定の間隔で地質調査を行い、亜炭が採掘された空洞の位置、深さ、層の厚みを把握し、調査結果を基にトヨタ自動車の意向を確認しながら空洞対策の要否も含めて、検討を進めていく。

亜炭とは?

亜炭は、「井屑」(いくず)や「岩木」(いわき)、「川木」(かわき)などと呼ばれ、100年以上も前から採掘されており、褐炭の一種で、炭化の度合いが低く、不純物や水分を多く含み、発熱量が低く、主に家庭用の燃料として重宝され、多くの地域で採掘されていました。

桜井の意見

周辺地域の方々や環境に配慮した造成工事をしていくよう進めていくことが重要!

令和7年12月定例議会

国の大型補正予算に呼応した 県民生活を守る議会を開会!



質問1 開業1年を経たSTATION Aiの現状と今後について



Q STATION Ai開業から1年が経ち、これまでの成果と課題をどのように捉えているのか、また、今後どのような方向で展開されるのか伺う。

大村知事 答弁

開業後1年間において、スタートアップ会員は約110社、事業会社、大学、金融機関、行政等のパートナー企業は約150社増加し、現在、スタートアップ約610社、パートナー企業約350社、計約960社が集積し、年間1,300件を超えるピッチや連携イベントが行われている。一方で世界的なイノベーション創出拠点を目指し、さらに求心力を高めていくために独自の支援事業やコミュニティの更なる活用促進、マッチング成功率の向上や連携・協業実現に向けた専門的支援の高度化に加え、ダイバーシティの観点からは女性起業家の創出、海外スタートアップとの連携促進など、多様性を高めていくことが必要。**今後もスタートアップ、パートナー企業の誘引と会員コミュニティの充実、的確なニーズ把握と成長段階に応じた多様な主体とのマッチング、女性起業家の創出や海外スタートアップとの連携促進など愛知独自のスタートアップ・エコシステムの実現につなげていく。**

質問2 介護人材の確保に向けた取組について

Q 今後、ますます介護ニーズの高まりが見込まれる中、介護職への参入を促進するため、本県では、介護職員の負担軽減についてどのように取り組んでいかれるのか伺う。

大村知事 答弁

これまでに、延べ2,231の介護事業所において、介護ロボットやICT機器などの介護テクノロジーの導入を支援し、介護現場の業務効率化を進め、昨年6月には「あいち介護生産性向上総合相談センター」を開設し、介護テクノロジーの導入に課題を抱える事業所に対して、専門家による訪問相談や機器の一時貸出など、導入に向けた伴走支援を行い、負担軽減の一層の推進に努めている。また、こうした介護現場の負担軽減の取組や、介護の仕事の魅力などを、本県のポータルサイトで積極的に発信し、理解と関心を高め、介護職への参入を後押ししている。**今後も、働きやすい職場環境づくりを着実に進め、介護職に踏み出す方を支援し、高齢者の方々が安心して暮らせる社会の実現に向けて、しっかりと取り組んでいく。**

質問3 外国人児童生徒への学習支援・就労支援について

Q 外国人児童生徒への学習支援、高等学校段階での就労支援の充実に向けて、今後どのように取り組んでいかれるのか伺う。

川原教育長 答弁

小中学校では、日本語指導や易しい日本語を使った学習支援を行う教員を、全国最多の776人配置。また、児童生徒の相談に母語で対応したり、保護者面談の通訳を行ったりする語学相談員を、市町村による配置の他、県独自で11人配置し、更に今年度からは対面に加えてオンラインも活用して、支援の充実を図っている。高等学校においても、日本語指導を行う支援員の配置を進めるとともに、今年度、県立高校3校において、日本語指導が必要な生徒のために、特別の時間割を編成して、一人一人に合ったきめ細かな指導を行っており、今後はこうした取組の成果を他校にも還元し、来年4月に地元中学校との連携型中高一貫教育を導入する衣笠高校では、日本語のみならず、母語も生かした学びを進めていく。次に、**高等学校段階の就労支援については、県立高校に通う日本語指導が必要な外国人生徒のうち6割以上が在籍する定時制・通信制課程に、就労アドバイザーを3名配置し、企業や商工会、商工会議所などを訪問して、新たな就職先の開拓に取り組んでいる。今後は、アドバイザーを活用した、より効果的な支援のあり方を検討するとともに、外国人生徒の就労について、さらに積極的に商工会、商工会議所などに働きかけていく。**

代表質問

12月定例議会が12月1日(月)～12月18日(木)までの会期で開催され、自由民主党・あいち民主の2会派が代表質問を行い、あいち県議団からは、政策調査会長である松本まもる議員(名古屋市緑区選出:2期)が登壇し、県政諸課題について県の考え方を質しました。

主な議案

令和7年12月定例議会(12月1日～12月18日)では、当初、人事委員会の勧告を踏まえて実施する職員の給与改定に等にする経費ほかであります。国は「強い経済」を実現する総合経済対策を織り込んだ大型補正予算に呼応した、総額1,484億余円の補正予算をはじめ87議案をすべて可決致しました。

物価高騰の影響を受ける商店街を支援

物価高騰の影響を受けている県内の消費を喚起するため、市町村が商店街の活性化に向けて実施するプレミアム商品券発行事業等に対し引き続き支援します。

○ げんき商店街推進事業費補助金

- 補助対象者：市町村(39市町村)
- 補助率：1/2以内
- 補助対象事業：プレミアム商品券発行事業
- キャッシュレス決済ポイント還元事業

※キャッシュレス決済ポイント還元事業は限度額一律7,000千円



中小企業等が継続的に賃上げできる環境整備を促進

中小企業等の生産性向上や持続的成長に向けた取組を支援し、継続的に賃上げできる環境の整備を促進します。

①デジタル人材の育成支援

○デジタル化実践人材の育成

- デジタル化による生産性向上の取組に必要なスキルを習得するため、短期集中型の実践的ハンズオン研修を実施
- 研修受講者に対して専門家が個別フォローアップを行い、自社でのデジタル化の実践を伴走支援
- 個別フォローアップの成果を横展開する成果発表会を開催

○生成AI活用の普及促進

生成AIの活用を支援するため、生成AIの基礎知識・活用方法等を掲載した専用Webサイトを新たに立ち上げ、幅広い企業に情報提供

②デジタル化に対する補助

- 対象：デジタル技術を活用し生産性向上に取り組む県内中小企業・小規模事業者



○補助限度額：200万円

○補助率：中小企業1/2以内、
小規模事業者2/3以内

○支援内容

- 中小企業・小規模事業者のデジタルツール導入等の経費の一部を支援
- 生産性向上の効果を高めるため導入後のフォローアップを実施

③商工会・商工会議所による伴走支援の強化

○専門家と連携した伴走支援の実施

商工会・商工会議所が専門家(中小企業診断士等)と連携し、賃上げ環境整備に係る課題解決に向けた伴走支援を実施

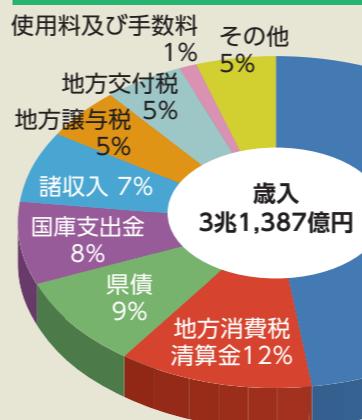
○講習会等の実施

中小企業・小規模事業者の賃上げ環境整備に係る意識向上を図る講習会等を実施

TOPICS 2

令和6年度一般会計決算を認定!

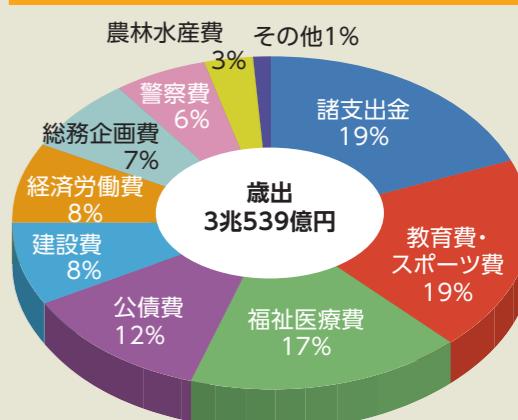
歳 入



県税の内訳

県民税	個人 3,408億円(+ 83億円) 法人 554億円(+ 184億円) 利子割 19億円(+ 9億円)
事業税	個人 154億円(- 1億円) 法人 5,187億円(+1,242億円)
その他(地方消費税・自動車税等)	5,644億円(+ 203億円)
合計	1兆4,968億円(+1,723億円)
※カッコ内は対前年度の増減を示す	

歳 出



総 括

- 県税収入の増収などにより、年度内の減債基金(任意積立分)及び財政調整基金の取崩しを全額取り止めた上で、**令和5年度に引き続き実質収支が黒字となつた。**
- しかしながら、県の財政運営は、医療・介護・子育てなどの扶助費や、民間企業の賃上げの影響を受ける人件費といった義務的経費が増加することなどから、令和7年度当初予算においても、多額な基金取崩しにより財源を確保している。加えて、**物価上昇や賃上げの動きが継続することが見込まれているとともに、米国の関税措置の影響による景気の下振れリスクが高まっている。**

物価高騰に対する 迅速な措置について緊急要望!

円安や人手不足などを背景として、あらゆるモノやサービスの値段が値上げを上回って上昇し続け、また、雇用の約7割を支える中小企業・小規模事業者では、値上がりと原材料費の上昇により、事業継続が大変厳しい状況に陥っている状況下、大村秀章知事に緊急要望をおこないました。



要望内容 *一部抜粋

生活者支援

市町村が実施するプレミアム商品券発行事業等に対する支援や、LPガス使用世帯に対する負担軽減を実施することで、**物価高騰による日常生活への影響を最小限に抑え、県民が安定した暮らしを送れるよう取り組むこと。**

事業者支援

中小企業・小規模事業者や農林水産業者等の負担を軽減するため、特別高圧電力価格や燃料費の高騰分に対する支援を行うこと。また、医療・介護・保育施設や学校等に対しては、送迎用車両の燃料費や光熱費、食材費の価格高騰分に対する支援を強化すること。

桜井の意見

国の大型補正予算に呼応し、他会派（自民党・公明党）と歩調を合わせた要望をおこないました！

日々の活動



10/5 堤 秋フェスタ2025

堤工場が稼働して55周年の節目となるフェスタに参加させていただきました。

10/10 あいち民主県議団研修

(株)デンソーが取り組まれている「ロボット技術」について実演を含めた概要を伺いました。

11/17 e-Palette定期運行に試乗

トヨタ自動車が開発した次世代モビリティの全国初の公道での定期運行に試乗。
*とてもスムーズです！



11/29 豊川駐屯地創立75周年記念行事

日々、私たちの暮らしを守っていただいている自衛隊の訓練を視察。

12/4 全トヨタ労連県政研修会

組合の役員の方々に愛知県の取り組みを報告し議員活動の理解促進に繋げています。

12/13 全国少年少女チャレンジ創造コンテストを観察

愛知県から10チーム（豊田市2チーム）が大会に臨み、大村知事より激励もいただきました。

ホームページを是非ご覧ください ▶ <https://sakurai-hideki.com/>

発行：桜井ひでき事務所

〒471-0832 豊田市丸山町10-5-1
TEL 0565-71-1555 FAX 0565-29-0274

